

市長日記

「校長先生の卒業式」

よわい
年齢を重ねたせいか、涙腺が緩くなった気がします。ドラマやスポーツの感動シーンでは、はばかりことなく涙を流し、家族からは少々あきれられています。

先日、「校長先生の卒業式」というタイトルで、市内の小学校で定年を迎えられた校長先生に、子どもたちからサプライズで「卒業証書」が渡されるというニュースが放映されました。

校長先生は、暑い日も寒い日も、毎日校門の前で大声であいさつし、子どもたちの姿を見守り続けたそうです。それも校長として在籍した5年間にわたってですから、「言うは易し、行^{かた}うは難し」です。

その姿が子どもたちの心に強く残ったのでしょうか。感謝の気持ちを伝えようと、子どもたちは手づくりの「卒業式」をないしょで企画しました。校長先生の驚く顔、喜ぶ顔が見たいと、がんばる子どもたちの姿に、私は感動し幸せな気持ちになりました。

「子は親の鏡」といいますが、「生徒は先生の鏡」です。「子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ。守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ。和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる」。これは、アメリカの家庭教育学者ドロシー・ロー・ノルト博士の著書からの引用です。

この春、「卒業」された多くの先生がいらっしゃいます。子どもたちを愛情いっぱいに見守っていただき、ありがとうございました。その気持ちは、子どもたちの心に根付き、やがて希望の芽となり、花を咲かせることでしょうか。教育とは、まさに「未来に触れること」なのです。

この春、着任された先生方には、どうか子どもたちの記憶に残るようなふれあいを持ってほしいと願っています。



～新発田の観光名所をご案内します～

今日から
あなたも **しばた観光大使**

【問合せ先】観光振興課 (☎ 28-9960)

<第2回> 「寺町たまり駅」と「和スイーツBOX」

新発田藩初代藩主の菩提寺である宝光寺をはじめ、いくつものお寺が並ぶ寺町通り。その寺町^{かいわい}境界の散策の休憩所として最適な「寺町たまり駅」が、内装を一新して営業しています。寺町たまり駅では、お茶や和菓子が楽しめるほか、地場産農産物の販売や「しばたっ子台輪」の展示も行っています。また、新たにだんごの販売も始めましたので、ぜひお立ち寄りください。

歴代藩主が茶道に力を入れた影響で和菓子文化が広まり、たくさんのお菓子店があるまちとして知られる新発田市。この菓子文化と「まち歩き」を組み合わせた企画として誕生したのが、「和スイーツBOX」です。モダンな柄の菓子箱を持って市内の菓子店を巡り、好みのお菓子を選んでオリジナルのお土産を完成させるというもので、ゆったりとまち歩きやお土産選びが楽しめます。和スイーツBOXは、寺町たまり駅や協賛している菓子店で購入できます。

寺町通りを散策するときには、だんごとお茶で一服してから、和スイーツBOXを片手に、まち歩きを楽しんでみてはいかがでしょうか。



▲新たにだんごの販売を始めた「寺町たまり駅」



【所在地】諏訪町 2-3-28 (宝光寺と三光寺の間)
【開館時間】午前9時～午後4時30分



◀「和スイーツBOX」は、箱代が600円で、別途菓子代がかかります

キラリ★しばた人

サッカーも、仕事も、いつも 全力プレーでがんばります

—— 高橋美夕紀さん（アルビレックス新潟レディース、市嘱託職員）

今年1月にアルビレックス新潟レディースに入団し、4月からは市スポーツ推進課で嘱託職員としても勤務している高橋さん。新社会人として、そしてサッカー選手として新たな一歩を踏み出した感想や今後の意気込みなどを伺いました。

— サッカーを始めたきっかけは？

2歳上の兄の影響で9歳から始めましたが、すぐに私の方が上手になりました。— サッカーでの得意なプレーや強味は？

私のポジションはフォワードですので、両足どちらからでも打てる強烈なシュートが得意です。負けず嫌いな性格もサッカーに向いていると思います。

— 新発田市の嘱託職員になった経緯は？

アルビレックス新潟レディースからの紹介です。ほかの職場もあったのですが、スポーツ関係の部署での仕事に魅力を感じ選びました。

— サッカーと仕事の両立で一番苦労していることは？

午前9時から午後4時まで勤務した後、サッカーの練習をしています。帰宅時間が大体午後10時を過ぎてしまうので、朝起きるのが少しつらく感じます。

— 今後の抱負は？

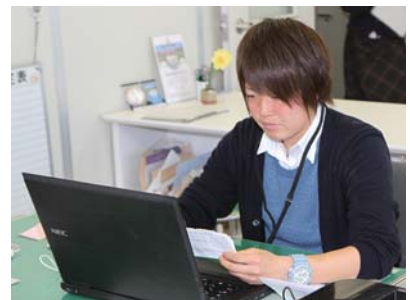
サッカーでは、シーズン開幕後、まだ出場機会がないので、1日でも早く試合に出て得点を決めたいです。職場の皆さんには温かく受け入れてもらっているの

— 応援しましょう。

皆さんで高橋選手とアルビレックス新潟レディースを応援しましょう。



▲インタビュー中、終始笑顔で答えてくれた高橋さん



▲工作中的表情は真剣そのもの



▲「最大のライバルは自分です」と語り、日々練習に励む高橋選手（右）。「早く、なでしこリーグのレベルに慣れて、試合で活躍したいです」と意気込みを話してくれました